

令和4年度「データサイエンス入門」自己点検・評価

長崎県立大学全学教務委員会／データサイエンス教育専門部会

自己点検・評価の視点	意見・結果・改善に向けた取組等
プログラムの履修・修得状況	令和4年度における本プログラム科目「データサイエンス入門」の履修学生は787名であった。全学教務委員会の専門部会である「データサイエンス教育専門部会」において、先行実施学科の履修状況や進捗状況を全学科担当者にて共有し、授業実施に係る運用面などについて検討を行いつつ各学科において授業を実施した。最終的な修得者は742名（94.3%）となった。
学修成果	各授業回の確認テストについて原則として再提出を可能とし、理解するまで何度でも取り組むことを奨励した。このことにより、期末テストの平均点は全体で93.8点となり、学修成果の定着に一定の効果が見られたと考えられる。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	令和4年度の受講学生へ授業評価アンケート結果においては、「到達目標をどの程度達成できたか」という設問に対し、アンケート回答者の85%が「大いに達成できた」又は「ほぼ達成できた」と回答している。また、回答者の66.7%が、身についたと思う力として「情報技術（ICT）の運用力」を選択している。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	令和4年度の受講学生への授業評価アンケート結果においては、「選択・必修に関わらずこの科目を他者に薦めたいと思うか」という設問に対し、アンケート回答者の86.7%が「薦める」又は「やや薦める」と回答している。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	令和4年度以降の入学生は全ての学科で必修となっているため、休学等を除き原則として全員が受講している。